

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第585号（平成27年7月1日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 循環資源利用促進部会の開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 酒田FRC有限責任事業組合、FRCを港湾関連資材に活用

2. 港湾分科会、石狩湾新港の次期港湾改訂計画を了承

3. 名古屋港管理組合、第4回名古屋港基本計画検討委員会開催

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 循環資源利用促進部会の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成27年7月10日（金）

15：30～17：00

場 所：みなと総研3階会議室

【事務局】

★なお、7/6（月）はみなと総研法人移行記念日のため休業とさせていただきます★

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 酒田FRC有限責任事業組合、FRCを港湾関連資材に活用

酒田FRC有限責任事業組合（本社酒田市、齋藤茂酒井鈴木工業代表）は、酒田共同火力で発生する石炭灰をFRC（フライアッシュ・リサイクル・コンクリート）に再生し、建設資材として有効活用している。道路の下層路盤材等として地元を中心に供給しているが、平成25年度には東日本大震災復興資材として小名浜港の直轄岸壁の裏込材として活用した。また今年からは山形県発注の山形港整備の港湾資材にも利用するほか、東北地整酒田港湾事務

所の事業に協力し、同材料を用いた藻場造成海域実証実験にも取り組んでいる。

同事業組合は酒田共同火力から発生した焼却灰を再処理して有効活用する目的で、酒田市内の酒井鈴木工業ら5社により平成23年に設立された。酒田共火から発生する焼却灰にセメントを混ぜ径1~4センチ程度のFRCを造り建設資材として供給している。現在のフライアッシュ取扱量は約4万立方m程度。供給先は国機関50%、県5%、酒田市40%、その他5%。同骨材は自然砕石に比べて約25%程度も軽いため輸送が経済的な他、その軽量特性を活かした需要も増えている。

港湾関係事例としては震災復興対応として平成25年に実施した小名浜港の整備で、岸壁本体への土圧を軽減するため約1万1000立方mのFRCを裏込材に用いた。また今年度は山形県の港湾事業として約3000立方m程度を供給するほか、直轄の酒田港湾事務所と連携し「酒田港大浜海岸を対象とした藻場造成実験」も実施している。

同実験は酒田港湾の実験募集にエントリーし採択された。国の進める生物共生型コンクリートブロックへの魚介類増殖効果を確認するもので、FRC製約1・2tのブロック166個を水深約3m程度の海底に設置し、ウニや牡蠣などの生育状況を追跡する。ブロック沈設は今年5月に実施、その後モニタリングを行っている。酒田港湾では漁業資源の拡大に寄与するものとして同成果に期待している。

酒田FRC有限責任事業組合のFRCは国土交通省のNETISにも登録済みで、同組合では砕石骨材と同額で市場に供給している。同組合は今年度、リサイクルポート推進協議会に加入している。

【港湾空港タイムス】

2. 港湾分科会、石狩湾新港の次期港湾改訂計画を了承

石狩湾新港の次期港湾改訂計画が6月29日に開かれた交通政策審議会港湾分科会で審議、了承された。

石狩湾新港の新たな港湾計画は平成40年代前半を目標としており、海上物流機能の強化として外貿コンテナ輸送の効率化、新エネルギー、リサイクル貨物等の産業立地に伴う物流需要に対応したバルク輸送機能の強化を内容としている。

石狩湾新港はリサイクルポートとしての指定以降リサイクル関連企業の立地が順調に増加。平成14年の指定時14社だったリサイクル企業は26年には39社にまで増えている。現状では金属くずを初めとするリサイクル貨物は各ふ頭に分散した形で取り扱っているが、今回の改訂計画では食品貨物等との分離や船舶の大型化、機能強化などの視点から東地区に水深12m岸壁ならびに約12haのふ頭用地を確保、循環資源を取り扱うふ頭として集約化している。

【港湾空港タイムス】

3. 名古屋港管理組合、第4回名古屋港基本計画検討委員会開催

名古屋港管理組合は6月19日、第4回名古屋港基本計画検討委員会（委員長・須野原豊日本本港湾協会理事長）を開催し、名古屋港の次期港湾計画のベースとなる基本計画をまとめた。今年9月に予定する第5回検討委員会において最終案をとりまとめるとともに港湾計画案を策定し、地方港湾審議会、交通政策審議会港湾分科会に上程して年内の改訂へと進める方針。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####